

親子つて！

運よく、子供を授かって
成長に目を細め、悦んだ日々
独り立ちし、ほっと一息、
全ての時間が 私のもの
羽根を 伸ばした頃も有ったけ

孫の可愛さに 目を細め
立てば歩めと 送った日
わが身に老いの 積もるのも
そんなバカなど、気づかぬふり
それでも老いは 足元にひたひたと

便りの無いのが 良い便り
割り切ったはずが 割り切れず
加齢が、心細さを連れてくる
気合を入れて 踏ん張るが、
この意地 どこまで続くやら

一人になるのは 確実で
思い出詰まった おんぼろ家
一人で住むには 広すぎて
小手先だけの 修理をし
家と私、どちらが先に朽ちるやら

人生も、終盤迎え
親の気持ちの 読める歳に
気が付いた時には 親はなし
過なきや、気づかぬ事ばかり
我が子に、こっち向いけホイは無理の無理

平成二十九年八月二十八日